

コクヨ株式会社 2021年12月期 第1四半期連結業績概要

～ニューノーマル環境下での競争優位の確立に向けた活動継続～

当社は、2021年12月期第1四半期の連結業績を発表しました。主な業績数値は以下の通りです。

(単位：百万円)

	2020年12月期 第1四半期	2021年12月期 第1四半期	増減率 (%)
売上高	90,283	90,157	△0.1
営業利益	8,936	9,982	11.7
経常利益	8,901	5,383	△39.5
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6,064	2,172	△64.2
1株当たり四半期純利益	51.27	18.38	△64.2

1. 全体業績概要

新型コロナウイルス感染拡大影響は続くも、競争力を発揮し、業績の回復傾向継続

当第1四半期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大影響により、引き続き不透明な状況で推移しております。経済正常化への動きは続いているものの、足元で緊急事態宣言の再発令がなされるなど、予断を許さない状況が続いております。当社グループは、今年を最終年とした中期経営計画「持続的な成長力の獲得 Smart & Sustainable Transformation 2021」として、メリハリを意識したスマートな稼ぐ力の向上と中長期事業成長を前提とした効率的な事業運営に取り組んでおります。新型コロナウイルス感染拡大影響によって、当社グループを取り巻く経営環境は激変し、大きな影響を受けました。しかしながら、顧客及び従業員の安心安全と事業継続の両立に取組みつつ、事業環境や顧客ニーズの変化に柔軟に対応することで、引き続き強い競争力を発揮できているものと考えております。

売上高は、前年同期比0.1%減の901億円となりました。売上総利益は、前年同期比1.0%減の345億円となりました。売上総利益率は、0.3ポイント低下の38.3%となりました。販売費及び一般管理費は、投資の優先順位付けによる人員配分とプロセスの見直しを推し進めたことにより、前年同期比5.3%減の245億円、売上高販管費率は27.2%となりました。以上により、営業利益は、前年同期

比 11.7%増の 99 億円、経常利益は、持分法適用関連会社であるペンてる(株)において海外各国の新型コロナウイルス感染症による業績悪化影響が想定を上回ったこと等に伴い、減損損失 50 億円を含めた持分法による投資損失 52 億円を営業外損失として計上したこと等により前年同期比 39.5%減の 53 億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比 64.2%減の 21 億円となりました。

2. セグメント業績概要

旺盛なオフィスリニューアル需要の取込みや、中国ステーションナリー事業の成長継続

2021 年 12 月期第 1 四半期のセグメント別業績は以下の通りです。

(単位：百万円)

		2020 年 12 月期 第 1 四半期	2021 年 12 月期 第 1 四半期	増減率 (%)
空間価値ドメイン	売上高	47,019	47,337	0.7
	営業利益	8,075	8,398	4.0
ビジネスサプライドメイン	売上高	31,066	31,262	0.6
	営業利益	674	785	16.5
グローバルステーションナリー ドメイン	売上高	20,866	20,072	△3.8
	営業利益	2,110	2,340	10.9
その他	売上高	645	677	5.0
	営業利益	35	31	△10.8
調整額	売上高	△9,315	△9,192	-
	営業利益	△1,959	△1,575	-
合計	売上高	90,283	90,157	△0.1
	営業利益	8,936	9,982	11.7

空間価値ドメインでは、働き方・空間ニーズの多様化を取り込んだ新たな価値を創りつつ、盤石な収益基盤の構築に取り組んでおります。国内事業は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策への相談対応やオフィスのリニューアル需要の取込みに注力し、想定以上に進捗させることができました。海外事業は、非日系顧客へ向けて、国内で培った知見を活かしたワークスタイル提案に注力しました。中国では今後も成長が見込める市場へ販売活動を推進しております。(株)アクタスは、インテリア需要の高まりへの対応として顧客とのオンライン商談や事前予約制の接客サービス等の営業活動に組み込み、受注が好調に推移しております。

このような状況のもと、売上高は、前年同期比 0.7%増の 473 億円となりました。営業利益は、前年同期比 4.0%増の 83 億円となりました。

ビジネスサプライドメインでは、流通基盤の統合とお客様にとって最適な販売体制の構築を図るマイグレーション戦略を推進しております。カウネット事業は、今年1月の緊急事態宣言によるオフィス出勤率低下や在宅勤務拡大の影響を受けましたが、伸長するEC市場における更なる成長に向けてウェブ商材強化や顧客数拡大等の取組みを推進しております。代理店販売事業は、顧客の購買行動のEC等への切り替えが継続している現状に鑑み、販売面及び物流面の効率化を推進しております。

このような状況のもと、売上高は、前年同期比0.6%増の312億円となりました。営業利益は、前年同期比16.5%増の7億円となりました。

グローバルステーションリードメインでは、国内市場における事業環境の大きな変化に向けて、体制整備を含む柔軟な対応を行うことによって収益の維持を目指すとともに、今後も成長が見込める海外市場の成長に取り組んでおります。国内事業は、新型コロナウイルス感染拡大影響によってBtoB市場とBtoC市場がそれぞれ影響を受けておりますが、BtoC市場におけるシェアの拡大、顧客ニーズに合わせたノートや文具を中心とした付加価値の高い学び商材の販売強化へ取組みました。海外事業は、インドでは新型コロナウイルス感染拡大影響により需要回復が遅れたものの、経済環境がいち早く回復しつつある中国においては、女子中高生をターゲットとした文具売上が好調に推移しました。

このような状況のもと、売上高は、前年同期比3.8%減の200億円となりました。営業利益は、前年同期比10.9%増の23億円となりました。

3. 第2四半期及び通期見通し

2021年2月12日付「2020年12月期 決算短信〔日本基準〕」において2021年12月期第2四半期及び通期の連結業績予想の開示を行いました。足元では新型コロナウイルス感染拡大影響により、事業環境の不透明感が継続しているものの、引き続き空間価値ドメインにおける分散化によって新たに生まれる働き方に向けた需要の取込み、ビジネスサプライドメインにおけるカウネット事業の顧客数増加とマイグレーション戦略の効果の刈り取り、グローバルステーションリードメインにおける中国事業の成長が継続する見通しであること、投資の優先順位付けによる人員配分とプロセスの見直しを推し進めたことにより、2021年12月期第2四半期及び通期ともに当初予想を上回る見込みであることから、売上高及び営業利益に係る業績予想の上方修正を実施致します。

一方で、経常利益につきましては、持分法適用関連会社であるペンてる(株)において海外各国の新型コロナウイルス感染症による業績悪化影響が想定を上回ったこと等に伴い、減損損失50億円を含めた持分法による投資損失52億円を営業外損失として計上したこと等により下方修正を実施致します。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、特別利益として投資有価証券売却益約40億円の計上を見込んでいること等により当初予想を据え置くことと致します。

・ 2021年第2四半期連結業績予想

(単位：百万円)

	前回発表予想 (A)	今回発表予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(参考)前期実績 2020年 第2四半期
売上高	162,000	167,000	5,000	3.1	155,813
営業利益	10,300	13,100	2,800	27.2	10,090
経常利益	10,700	8,500	△2,200	△20.6	9,467
親会社株主に帰属する 四半期純利益	7,400	7,300	△100	△1.4	6,288
1株当たり 四半期純利益	円 銭 62.55	円 銭 61.70	円 銭 △0.85	△1.4	円 銭 53.15

・ ドメイン別 業績予想数値

(単位：百万円)

		前回発表 予想(A)	今回発表 予想(B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(参考)前期実績 2020年 第2四半期
空間価値 ドメイン	売上高	78,000	83,600	5,600	7.2	78,074
	営業利益	9,450	11,500	2,050	21.7	9,417
ビジネスサプライ ドメイン	売上高	60,000	59,900	△100	△0.2	55,968
	営業利益	1,450	1,470	20	1.4	1,187
グローバルステーションアー ドメイン	売上高	39,100	39,100	-	-	36,973
	営業利益	3,200	3,500	300	9.4	2,640
その他	売上高	1,300	1,370	70	5.4	1,252
	営業利益	50	70	20	40.0	61
調整額	売上高	△16,400	△16,970	△570	-	△16,455
	営業利益	△3,850	△3,440	410	-	△3,215
合計	売上高	162,000	167,000	5,000	3.1	155,813
	営業利益	10,300	13,100	2,800	27.2	10,090

・ 2021 年通期連結業績予想

(単位：百万円)

	前回発表予想 (A)	今回発表予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(参考)前期実績 2020 年通期
売上高	311,000	321,000	10,000	3.2	300,644
営業利益	15,200	18,600	3,400	22.4	14,807
経常利益	16,000	14,200	△1,800	△11.3	14,173
親会社株主に帰属する 当期純利益	11,800	11,800	-	-	8,297
1 株当たり 当期純利益	円 銭 99.74	円 銭 99.74	円 銭 -	-	円 銭 70.13

・ ドメイン別 業績予想数値

(単位：百万円)

		前回発表 予想(A)	今回発表 予想(B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(参考)前期実績 2020 年通期
空間価値 ドメイン	売上高	146,000	155,000	9,000	6.2	144,700
	営業利益	14,550	17,300	2,750	18.9	13,859
ビジネスサプライ ドメイン	売上高	118,000	118,000	-	-	113,065
	営業利益	2,850	2,900	50	1.8	2,502
グローバルステーションアリー ドメイン	売上高	75,600	76,300	700	0.9	71,536
	営業利益	5,500	5,950	450	8.2	4,810
その他	売上高	2,700	2,800	100	3.7	2,522
	営業利益	100	100	-	-	54
調整額	売上高	△31,300	△31,100	200	-	△31,179
	営業利益	△7,800	△7,650	150	-	△6,419
合計	売上高	311,000	321,000	10,000	3.2	300,644
	営業利益	15,200	18,600	3,400	22.4	14,807

以上

<業績予想の適切な利用に関する説明>

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

連結業績の詳細は、決算短信をご参照ください。